

はなづなの取り組み（支援プログラム）

作成日：令和6年10月1日

株式会社 T&K はなづな（児童発達支援・放課後等デイサービス）

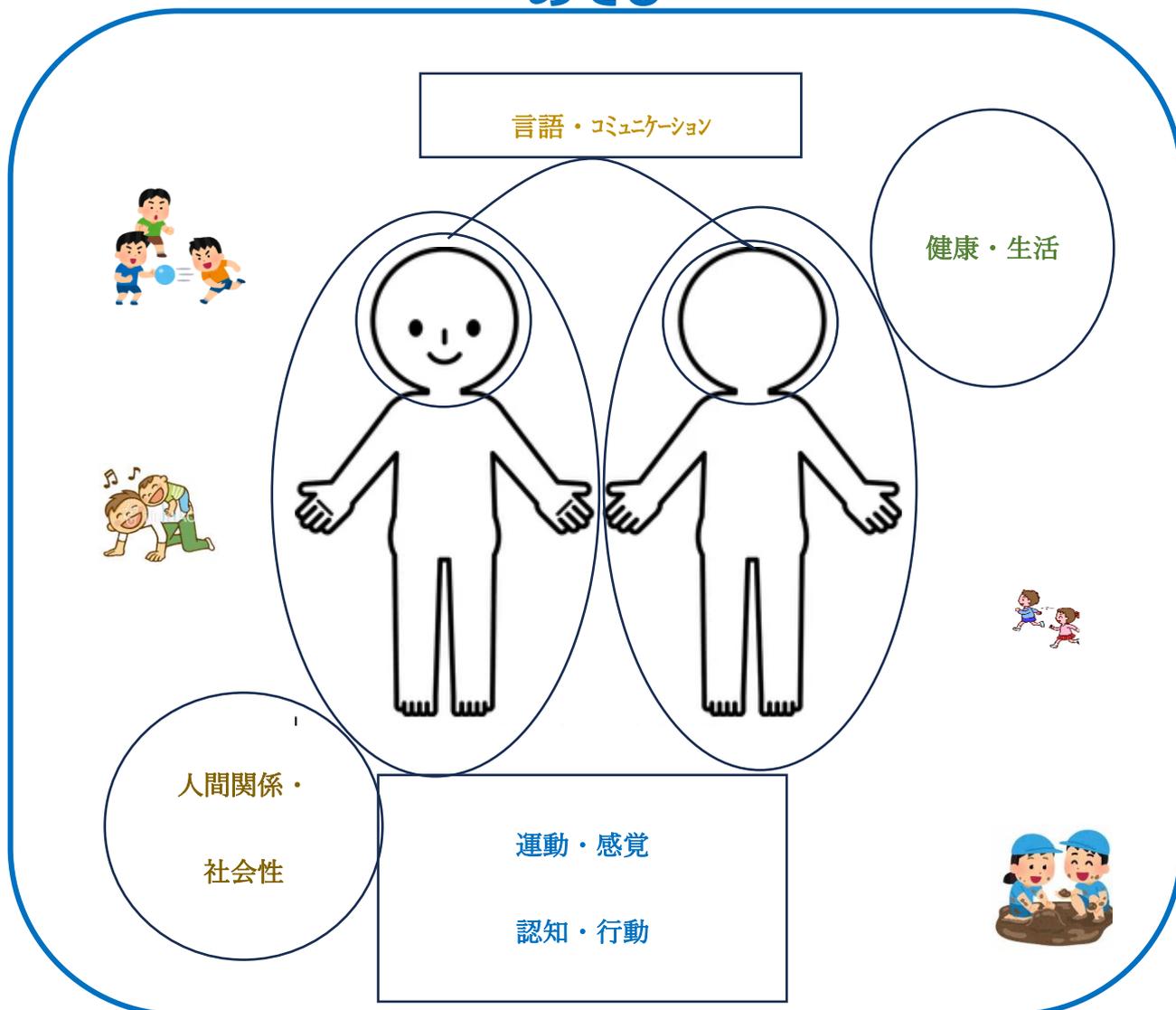
コンセプト

＜遊び＞を通じた療育より自然に楽しく学ぶ

～全ての人々が自分「らしく」あれるように～

支援方針：個別療育～小集団（最大3名まで）療育を実施。

あそび



◎私たちはなづなスタッフ一同は、遊びを中心とした療育を展開しています。

◎遊びから連想される事→様々あると思いますが、私たちは、「子どもたちに一番馴染みがある事。」「自主性・主体性がより育まれる事。」「学びの機会が多い事。」「想像力をかき立てる事。」等を思い浮かべ支援プログラムに取り入れています。

◎遊びの場面より観察される、その子自身の、「得意」「課題」「芽生え」等を元に、計画→実行→評価→改善→計画…を繰り返し実践しています。

◎個人に合ったオーダーメイドの内容にて療育（遊び）を展開・実施しています。

◎私たちは、遊びの中から五領域（【言語・コミュニケーション】【健康・生活】【人間関係・社会性】【運動・感覚】

【認知・行動】）の側面で分析し、更に状況に応じた、個別での専門的なプログラムや課題の選定を行います。

遊びの一例（鬼ごっこ編）

◎鬼ごっこをする上で必要となる力として…

・【健康・生活】水分補給・自分自身の体調把握（体熱感・息苦しさ）・【運動・感覚】【認知・行動】走る・方向転換・足の裏の感覚・舐められたという感覚・上下、前後、左右の身体の揺れ・舐め時の力加減・走る時の風の感覚・耳から入る周囲の情報・追っている人と、追われている人との距離感・逃げる道筋のプランニング・目が回る感覚・【言語・コミュニケーション】周りの状況確認・ルール説明、確認・ルール理解・話しや、説明を聞く力・数の概念・聞く姿勢・【人間関係・社会性】TPOの理解・危険予測・気持ちの切り替え…等々。現状挙げるだけでも、5領域内でも重複している箇所がある様に、遊びの全てにおいて、繋がりを持っていることが分かります。

◎私たちは、遊びを分析し、支援プログラムの検討・変更・実践をしています。

■事業所情報 営業時間：月～土曜日 開所 9：00～18:00 送迎：あり